

平成 29 年度

多摩市

若者会議

実施報告書



平成 29 (2017) 年 12 月

多摩市若者会議

[目次]

多摩市若者会議の概要

1. 多摩市若者会議について	1
2. ファシリテーター	1
3. 実行委員（コアメンバー）名簿	1
4. 開催実績（平成 29 年度）	2

多摩市若者会議 開催レポート

1. 第 1 回多摩市若者会議（6 月 16 日（金）開催）	3
2. 第 2 回多摩市若者会議（8 月 4 日（金）開催）	4
3. フィールドワーク（8 月 21 日（月）開催）	5
4. 第 3 回多摩市若者会議（9 月 15 日（金）開催）	7
5. 第 4 回＜最終回＞多摩市若者会議（11 月 17 日（金）開催）	10

多摩市若者会議からの提言

1. 若者会議から生まれたプロジェクトの実践に向けて	
～「若者のまちづくり拠点」の整備について～	14

資料

1. 第 4 回＜最終回＞多摩市若者会議プレゼン資料	16
2. 多摩市若者会議における意見のまとめ	42

多摩市若者会議の概要

1. 多摩市若者会議について

多摩ニュータウンや聖蹟桜ヶ丘のある多摩市では、近年、急速な高齢化、若い世代の人口減少が進んでいます。そうした中、若い世代が主体となり、「住んでみたい」、「訪れてみたい」と思えるような魅力を創出し、発信していくため、平成 29 年 6 月に「多摩市若者会議」を設置しました。

これまで、市内外の大学生を中心とした若者会議実行委員（コアメンバー）が中心となり、口コミや SNS 等により参加者の輪を拡大させながら、全 4 回のワークショップとフィールドワークを通して、プロジェクトの検討を行ってきました。会議、フィールドワークへの延べ参加者数は 285 人、参加者の平均年齢は 26.8 歳（年齢制限なしの会議 1 回を含む）、約 3/4 が市外からの参加者と、多様なバックグラウンドを持つ方々が、様々なアイデアを提案してくださいました。

【会議のねらい】

- 39 歳以下の若者（近隣の大学生、社会人が中心）が一堂に会する場をつくります。
- ワークショップによる未来志向の対話を通して、多様な知恵の融合による化学反応を起こし、これまでにない独創的なアイデアを生み出します。
- アイデアを出して終わりではなく、提案者である若者自らプロジェクトを企画し、実践していきます。

2. ファシリテーター

はやしだ のぶあき

林田 暢明 氏（総務省地域資源・事業化支援アドバイザー）

3. 実行委員（コアメンバー）名簿 （敬称略、順不同。第 4 回〈最終回〉発表メンバーのみ記載。）

No	氏名	属性
1	相田 雅貴	大学生
2	五十嵐 由奈	大学生
3	石原 瑠波	大学生
4	井上 晴美	大学生
5	小川 真澄	大学生
6	翁 靖佳	大学生
7	権平 絢香	大学生
8	杉浦 真吾	大学生
9	西原 昂克	大学生
10	高橋 菜緒	大学生
11	前川 遥	大学生
12	若林 美和子	大学生
13	加藤 利樹	大学院生
14	村上 遼	社会人
15	小川 千晶	社会人
16	白須 美由希	社会人
17	中嶋 英仁	社会人
18	矢野 梓葉	社会人

4. 開催実績（平成 29 年度）

(1) 多摩市若者会議

会議内容	開催日	場所	内容	参加人数
第 1 回若者会議	6月16日(金) 18:00～20:30	パルテノン多摩 第一会議室	プロジェクトの検討	54 人
第 2 回若者会議	8月4日(金) 18:30～20:30	パルテノン多摩 第一会議室		69 人
フィールドワーク	8月21日(月) 16:00～18:00	市内各所	班ごとに分かれフィールドワーク	33 人
第 3 回若者会議	9月15日(金) 18:30～20:30	関戸公民館 大会議室	プロジェクトの企画・立案	50 人
第 4 回若者会議	11月17日(金) 19:00～21:00	大妻女子大学 多摩キャンパス 2号館 (学生会館) 食堂	プロジェクト（案）の発表 & 参加者全員でブラッシュアップ	79 人

(2) コアメンバー会議

会議内容	開催日	場所	内容	参加人数
第 1 回コアメンバー会議	5月31日(水) 18:30～20:30	パルテノン多摩 シティーサロン	キックオフミーティング、 第 1 回会議に向けた検討	18 人
第 2 回コアメンバー会議	7月16日(日) 18:30～20:30	パルテノン多摩 シティーサロン	第 2 回会議に向けた検討	18 人
第 3 回コアメンバー会議	8月5日(土) 18:30～20:30	関戸公民館 第三学習室	フィールドワーク、 第 3 回会議に向けた検討	20 人
第 4 回コアメンバー会議	10月19日(木) 17:00～18:30	パルテノン多摩 シティーサロン	第 4 回会議における 発表内容の検討	20 人
第 5 回コアメンバー会議	11月2日(木) 18:00～19:00	パルテノン多摩 シティーサロン		20 人
第 6 回コアメンバー会議	11月15日(水) 19:00～20:00	永山公民館 ベルブホール	第 4 回会議における 発表のリハーサル	14 人

(3) グループごとの活動

上記以外にも、実行委員（コアメンバー）同士が、フィールドワークやプロジェクトの内容を検討するために自主的に集まるなど、グループごとに多くの活動をしていただきました。

2. 第2回多摩市若者会議 (8月4日(金) 19時~21時@パルテノン多摩 第一会議室)

(1) プログラム

- 前回までの若者会議について
 1. 「自己紹介 & 前回の振り返り」
 2. 「フィッシュボール※」
 3. 「話題提供を受けてテーマ設定 & 深掘り」
 4. 「テーブルごとにテーマ設定、フィールドワークの内容について」
 5. 「フィールドワークのアイデア出し」
 6. 「家路に着く」
 7. 「ハーベスト (収穫)」

※フィッシュボール：空間の中心に代表のテーブルを配置し、それを囲むように外側にテーブルを配置しながら、内側のテーブルの人が対話をするワークショップの手法。内側で行なわれる対話を外側から眺めるという意味で、フィッシュボール (金魚鉢) と呼ばれている。



(2) 当日の様子 (第2回会議)

- 参加者数：69名 (平均年齢 24.7歳)
- 第1回での議論を踏まえ、①魅力発信、②近居、③絵になる街、④学園企業都市、⑤自然のグループに分かれて、ワールドカフェ方式で、アイデアの深掘りとフィールドワークの行程について話し合いました。思いついたことは、机上のクラフト紙に書き込みながら進めました。



(3) 議論のまとめ

- グループごとに特に興味のあるテーマについて、深掘りした議論の内容を発表しました。特に、「魅力発信」について多くのアイデアが出されました。
また、アイデアの実現に向けて、市の理解を深めるために実施するフィールドワークの行程案についても、あわせて発表が行われました。

<第2回参加者の声>

- ・前回より、具体的な議論ができたので、今回の方が楽しかったです。
- ・自分と意見が異なる人と話すのが面白く、あっという間でした。



<発表の様子>



<意見のまとめ>



※「第2回会議における意見のまとめ」の拡大画像については、42ページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

3. フィールドワーク（8月21日（月）16時～18時@市内各所）

(1) コース名

- ①「多摩ニュータウンの今を知るコース」
- ②「聖蹟桜ヶ丘聖地巡礼・まち歩きコース」
- ③「多摩センター周辺・歴史探訪まち歩きコース」
- ④「日本一長い（？）ペDESTリアンデッキ巡りコース」



(2) フィールドワークの実施内容

① 多摩ニュータウンの今を知るコース（永山駅出発）

- 昭和40年代に入居が開始された初期の団地群から日本最大級のマンション建て替えを果たした大規模団地に至るまで、多摩ニュータウンの移り変わりを感じながら、まちを巡るコースです。
- 訪問スポット：諏訪団地、プリリア多摩ニュータウン、愛宕団地など
- 当日のコース：永山駅 → グリナード永山 → 諏訪団地 → プリリア多摩ニュータウン → 永山駅 → 多摩ニュータウン通り → 愛宕団地 → ロケット公園（愛宕第4公園） → 乞田川 → 多摩センター駅



② 聖蹟桜ヶ丘・聖地巡礼まち歩きコース（聖蹟桜ヶ丘駅出発）

- アニメ映画のモデル地とされている聖蹟桜ヶ丘駅周辺の「聖地」を巡って市内の魅力を再発見するコースです。
- 訪問スポット：青春のポスト、いろは坂、金毘羅宮など
- 当日のコース：聖蹟桜ヶ丘駅 → 青春のポスト → 霞ヶ関橋 → いろは坂通り → 金比羅宮（※おみくじを引く） → 天守台：関戸城跡 → 桜ヶ丘ロータリー → ノア洋菓子店 → 原峰公園 → 熊野神社 → 観音寺 → 関戸古戦場跡 → 聖蹟桜ヶ丘駅



③ 多摩センター周辺・歴史探訪まち歩きコース（多摩センター駅出発）

- 多摩センター駅近くに存在する多くの歴史・文化スポットを中心に巡りながら市内の魅力を再発見するコースです。
- 訪問スポット：東京都埋蔵文化センター、白山神社など
- 当日のコース：多摩センター駅 → 東京都埋蔵文化財センター → 白山神社 → グリーンライブセンター、旧富澤家住宅 → 多摩中央公園 → パルテノン多摩歴史ミュージアム → 多摩センター駅



④ 日本一長い(?) ペDESTリアンデッキ巡りコース（多摩センター駅出発）

- 市内の遊歩道が全長 41km におよんでいることから車道を一切横断することなく歩き続けられるという多摩市の魅力を歩きながら実感するコースです。
- 訪問スポット：パルテノン大通り、鶴牧東公園、鶴牧西公園など
- 当日のコース：多摩センター駅 → パルテノン大通り → サンリオピューロランド前 → 白山神社 → 新都市センタービル前（放牧されているヤギ等を見学） → 多摩中央公園 → 宝野公園 → 奈良原公園 → 鶴牧東公園 → 鶴牧西公園 → 唐木田駅 → 多摩センター駅



4. 第3回多摩市若者会議 (9月15日(金) 19時～21時@多摩市立関戸公民館 大会議室)

(1) プログラム

1. 「自己紹介 & これまでの振り返り」
2. 「プロジェクトの具体化に向けた検討
～これから実践してみたいことの共有～」
3. 「参加者がプロジェクトのアイデア案を発表」
4. 「参加者がプロジェクトごとに仲間を募り、プロジェクトごとにミーティング」
5. 「ハーベスト (収穫) 」



(2) 当日の様子 (第3回会議)

- 参加者数：50名 (平均年齢 25.2歳)
- 過去2回の会議で生まれたアイデアをベースとして、ワールドカフェ & オープンスペーステクノロジー(OST)※という手法で、プロジェクトの具体化に向けて、議論を行いました。

※オープンスペーステクノロジー(OST)：参加者が自ら提案して仲間を募り、プロジェクトを創出していく議論の手法



(3) 議論のまとめ

- 最後に、今後実践してみたいプロジェクトについて、グループごとに検討した結果を発表しました。
- 「学園企業都市～インカレサークルのような団体を作って市内で活動を」、
「学園と企業のフェスやナイトバザールなどのまつり」、
「公園を市民の力で修繕」、「未知カフェ」など
8つの具体的な提案がなされました。



(4) 各グループの発表内容 ※発表内容の拡大画像については、44ページ以降に掲載していますので、ぜひご覧ください。

① パルテノン多摩の活用 (大階段・建物内)

- パルテノン多摩の大階段を「インスタ映え」するようにサンリオキャラクターでラッピングし、大階段を遠くから見た人が「遠くから見ると実はキティちゃんだ！行ってみよう！」というようにパルテノン多摩に興味を持って訪れ、建物内に入っていくという流れを生み出したい。
- パルテノン多摩内には、子育て世代にやさしい「フードコート」・サンリオとコラボした「カフェ」・多摩市の「特産品販売所」・音楽室 (バンド練習ができる)、図工室などがあると良い。



② ネット上で話題になるイベントの開催

- 「タイムライン」で多摩市が1位になるようなイベントを開催したい。その際には、学生、NPO等の人材の豊富さや、多摩産材、団地、公園などの地域資源を活用したい。
- 自ら楽しみながらまちのことを知り、広めたい気持ちが喚起されることを目指す。活動内容としては「イベントメニューリストの作成」、「クイズラリー」、「イルミネーション」、「流しそうめん」、「防災体験」、「海の家公園版をつくる」、「有名人の作品をさがす」、「隠れ〇〇」の設置等が考えられる。



③ 魅力発信 ～「キャラクター」や「遺跡」の活用～

- 「キャラクター」や「遺跡」を活用し、若者へ魅力発信することで足を運んでもらい、その結果「住みたい、行ってみたい」と思ってもらえるようなイベントを開催したい。
- 「インスタ映えするスポットや聖地をつくる」、「空き家を活用したキャラクターの家」、「市民交流サイト」、「キャラクターを活用したネーミングライツ（多摩センター駅をキティ駅にする等）」、「キャラクター同士の争奪戦イベント」などのPR効果の高い取り組みをしたい。
- 原付のナンバーにサンリオのキャラクターを活用するなど、実際に市に住むことで得られる特典を用意することも考えられる。



④ 「学園企業都市」～インカレサークルの設立～

- 多摩市の中で、大学間（中高生を含む）のインカレサークルをつくりたい。多様な学生が集まることで規模が大きくなり、継続性が担保される。
- 民間企業と連携の上、インカレサークルの中から出てきた学生のアイデアを民間企業等が実現していくような活動をしたい。学生のモチベーションとしては、何かにチャレンジできること、実際にアイデアを実現できることである。



⑤ 「祭り」～企業と学生のコラボレーションイベント～

- 「イノベーションが生まれるまち」を目指し、「④学園企業都市～インカレサークルの設立～」でできた基盤の上に、学園と企業がコラボレーションした祭り（イベント）を開催したい。
- 【例】ナイトバザールの開催…多摩市の強みである公園を活用し、公園に多くの出店者を呼びたい。二部制として、昼間は学生が考えたアイデアを発表し、協力者を募るイベントを開催し、夜間は学生と企業の方々が飲みながら話しをするなどして、面白い空間をつくりたい。



⑥ 公園の活用 ～市民の力を活かす～

- 市民の力を活かして、多摩市の特徴である公園の活用を進めたい。
市民の力を借りることで、公園の維持管理に係る費用を削減する効果も見込める。長期的には、公園活用が進んでいることが市の魅力となり、このまちを選ぶきっかけとなると良い。
- 具体的には、「公園のペンキ塗り」、「ペDESTリアンデッキと公園を活用したスタンプラリー」、「多摩市版公園カード」、「ピアガーデン」
「公園内に畑を作る」等を通して、気軽に利用でき、楽しめる公園づくりを進めていきたい。



⑦ 地域資源（昆虫等）の活用～セミを食べる！？たこ焼きロシアンルーレット～

- 自然が多く、地域資源（昆虫等）の多さを活かして、例えば、多摩市のセミを食用として名物化するなどして人を呼びたい。
- ゲーム感覚で実施した方が人が集まるため、セミをたこ焼きの8個中2個に入れるなどとする。その後の展開としては、スイーツ化、食べ比べ、グルメ本の販売等が考えられる。
- 昆虫嫌いな人にとっては、昆虫の食用が進むことにより、多摩市のセミが少なくなることで、住み良いまちになる効果が期待できる。



⑧ 色々な人が集まれるカフェをつくる～ Everyday find new thing 未知カフェ～

- 市内の空きスペースを活用し、市外から多様な人を呼び寄せることができるような、カフェ兼イベントスペースをつくりたい。駅から近すぎず遠すぎない隠れ家的な場所で、多彩なイベントが開催したい。
- 「企業による学生向け講演会」、「テーマ別イベント」、「スポーツ観戦」、「音楽鑑賞」、「ママ友や家族の集まり」等を通して、企業にとってはリクルート、宣伝効果が見込めるほか、人脈を広げる場としての活用が図られる。
- この未知カフェを「多摩市にしかない場」ということでP Rし、ブランド化を図るため、「オリジナル冊子」を作成することも考えられる。



<第3回参加者の声>

- ・ とても良い企画で参加して良かったです。
- ・ 学生のフレッシュな意見が聞けてとても参考になりました。
- ・ ぜひ企画を目立つ形で実現してほしい。



5. 第4回<最終回>多摩市若者会議

(11月17日(金) 19時~21時@大妻女子大学多摩キャンパス 2号館(学生会館) 食堂)

(1) プログラム

1. 「実行委員によるプロジェクト案の発表
(計30分のショートプレゼン)」
2. 「参加者全員でワールドカフェ方式によるワークショップ」
3. 「議論のまとめ」



(2) 当日の様子(第4回会議)

- 参加者数: 79名(平均年齢31.2歳)
- 第4回会議は年齢制限なし!
幅広い年代の方にご参加いただきました。
- これまで述べ200人以上の参加者の皆様からいただいたアイデアを、大学生、社会人有志の実行委員(コアメンバー)により、以下の4つのテーマに集約・発表しました。
その後、ワールドカフェ方式により、参加者全員でプロジェクトの実現に向け、意見交換しました。



(3) 実行委員によるプロジェクト案の発表テーマについて

実行委員(コアメンバー)により4つのテーマに集約し、発表いただきました!

前回(第3回会議)での発表テーマ

- ①パルテノン多摩の活用(大階段・建物内)
- ②ネット上で話題になるイベントの開催
- ③魅力発進~「キャラクター」や「遺跡」の活用
- ④「学園企業都市」~インカレサークルの設立~
- ⑤「祭り」~企業と学生のコラボレーションイベント
- ⑥公園の活用~市民の力を活かす~
- ⑦地域資源(昆虫等)の活用
~セミを食べる?! たこ焼きロシアンルーレット~
- ⑧色々な人が集まれるカフェを作る
~Everyday find new thing 未知カフェ~

«発表テーマ»

- ①多摩市の公園を再生し、
まちの魅力にしよう!
- ②パルテノン多摩&多摩中央公園の活用
- ③パルテノン多摩&
サンリオキャラクターの活用
- ④未知 Cafe と学園企業都市
~若者団体が多摩市を盛り上げよう~

(4) 実行委員によるプロジェクト案の発表内容（概要）について

※具体的な内容については、17 ページからの「第 4 回＜最終回＞多摩市若者会議プレゼン資料」をご覧ください。

① 多摩市の公園を再生し、まちの魅力にしよう！

- 多摩市の面積の約 10%は公園である（2.01k m² / 21.08 km²）。
その特徴を生かして、市内にある公園を使って魅力発信していきたい。
このことが若い世代の定住促進にもつながっていく。
- 例えば、公園を利用したフリーマーケットや BBQ などの定期型イベントを開催したい。また、サンリオやラスカルなどのキャラクターとコラボしたイベントの開催等を通して、新たな公園の魅力をつくり、それらを SNS や PR 動画を通じて、発信していきたい。



② パルテノン多摩&多摩中央公園の活用

- フィールドワークを通して、多摩市は若い世代・子育て世代にとっての住環境の良さが魅力だと感じた。そこで、そうした魅力を発信するため、文化の拠点としての「パルテノン多摩」と人々の交流の場としての「多摩中央公園」に焦点を当てたイベントを企画したい。
- 具体的には、パルテノン多摩の大階段を利用した参加型ギャザリングアートイベントや、多摩中央公園での野外映画祭、婚活イベントの開催などが考えられる。



③ パルテノン多摩&サンリオキャラクターの活用

- 多摩市の知名度・注目度を上げるため、パルテノン多摩とサンリオキャラクターを活用したい。具体的には、サンリオキャラクターとパルテノン多摩、電鉄会社とコラボしたイベントの開催や、グッズ販売、駅前のキャラクター装飾、キャラクターショーなどの取り組みを実現したい。
- こうした取り組みを通じて、多摩センターをより活気づけ、より多くの方々が訪れる場所にしていきたい。



④ 未知 Cafe と学園企業都市 ～若者団体が多摩市を盛り上げよう～

- フィールドワークを通して、多摩市には賑やかさや活気が足りないのではと感じた。そこで、若者の集まる「場（＝未知 Cafe）」をつくり、そこを活動の拠点として若者団体を立上げ、市を盛り上げていきたい。
- その際には、多摩市の特徴である大学・企業の多さを生かして、大学や企業との連携により、若者が「未知」なる新しいものに出会い、自らの成長を実感できるような取り組みをしていきたい。



(5) 第4回当日に参加者の皆様からいただいた意見について

- 最後に、実行委員（コアメンバー）による発表内容を踏まえて、参加者全員で行った意見交換の内容をグループごとに発表しました。

【主な意見】

全体的な意見

- プロジェクトの持続性、多様性を確保することや、長期的な視点やビジョン（1年後、5年後、10年後）を持つことが重要である。
- プロジェクトを継続していくためには、例えば、高齢者×若者、子ども×若者というように、若者だけでなく、あらゆる世代の方の力を借りる必要がある。
- プロジェクトに参加するメリットを考える必要がある。例えば、学生であれば、社会人との交流が就職活動に役立つことや、大学のゼミ単位での参加により単位が付与されることなどが考えられる。企業、大学にとってのメリットについても考えた上で、プロジェクトを企画する必要がある。

①多摩市の公園を再生し、まちの魅力にしよう！

- 夜の公園は街灯が少なく怖い。その解決のために、夜の公園活用を提案したい。例えば、公園に夜店を出店することで、夜の公園が明るくなるとともに、まちの活性化にも役立つのではないか。
- プロジェクトを実施していく上では、公園活用のストーリーをつくる必要がある。例えば、夜更けまで公園で遊んで、そのまま民泊するなどのストーリーが考えられる。

②パルテノン多摩&多摩中央公園の活用

- 若者会議としてイベントを実施する際には、一過性のイベントにならないように留意する必要がある。

③パルテノン多摩&サンリオキャラクターの活用

- 多摩市の認知度を上げるためには、サンリオキャラクターの活用だけでなく、ポストサンリオ戦略も必要である。



【主な意見】（つづき）

④未知 Cafe と学園企業都市～若者団体を多摩市を盛り上げよう～

- コワーキングスペース、サテライトオフィスなど新しい働き方ができるような場所も必要である。
- 未知カフェは良いアイデアだと思う。ぜひ大妻女子大学の中につくってほしい。
- 若者団体は良いアイデアだと思うが、新しい団体に入るには勇気がいる。気軽に入れるように参加のきっかけづくりをしてほしい。
- 若者たちの語り場は必要であり、そのためのアイデアの一つとして、公共施設に学割料金を導入し、学生が利用しやすくすることも考えられる。
- 企業、大学との連携を深めるため、コンソーシアムのような組織をつくるのはどうか。その組織でインターンシップの派遣先を探すこともできる。

その他

- 多摩市には、「大学の多さ」、「充実した公共施設」、「交通機関の利便性」の3枚のカードがある。このカードをどう切るのか考える必要がある。
- 団地の高齢化が課題であり、団地に住んでもらうきっかけづくりとして団地に1ヶ月無料で住んでもらうなど、団地の活用方法についても考える必要がある。



<意見のまとめ>



※「第4回会議における意見のまとめ」の拡大画像については、48ページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

<第4回参加者の声>

- ・今回は年齢制限がなく、より多くの新しい意見が聞けて良かったです。
- ・ぜひこの取り組みを事業化し、継続してほしいです。



多摩市若者会議からの提言

1. 若者会議から生まれたプロジェクトの実践に向けて～「若者のまちづくり拠点」の整備について～

平成 29 年度多摩市若者会議では、全 4 回の会議とフィールドワーク、若者会議実行委員（コアメンバー）による会議を通じ、4 つのプロジェクト案が生まれ出されました。来年度以降、多摩市若者会議実行委員会が中心となり、これらのプロジェクト案のうち、形にできるものから実践していきたいと考えています。

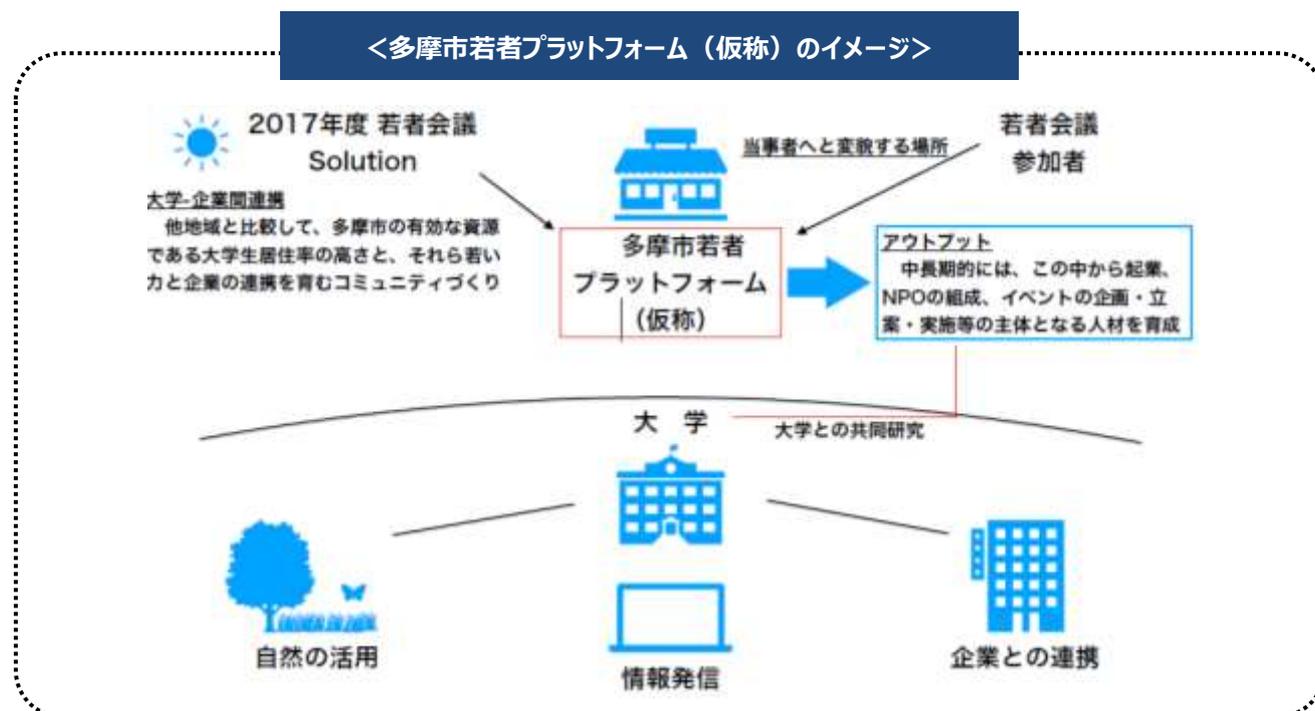
今後実践していくプロジェクトとしては、魅力発信イベントの開催など様々な可能性が考えられますが、その中でも特に、第 4 回＜最終回＞会議においても多くの賛同意見が寄せられた、発表テーマ④「未知 Cafe と学園企業都市 ～若者団体が多摩市を盛り上げよう～」を中心に実践していくことが最善だと考えます。

具体的には、平成 30 年度において「若者のまちづくり拠点」をつくり、若者が継続して集まれる「場」を創出していきたいと考えています。今回の若者会議で生まれた様々なアイデアの実現に向けても、まずは「拠点」をつくることで、その拠点を利用したイベント等の実施にもつなげていく考えです。そうした若者の集まる「場」があることで、若者会議への参加だけでなくとどまらず、実際に「多摩市のために何かしてみたい」という主体的な意志を持った若者が活動しやすくなります。そうした若者が参加者から当事者へと変貌する場所として「拠点」が必要であると考えます。

その「若者のまちづくり拠点」において、多摩市の強みである多くの大学や企業が立地している点や、市民活動が盛んな特性を活かし、大学、企業、NPO 等と若者との連携を育む場・コミュニティ（＝多摩市若者プラットフォーム（仮称））をつくることで、中長期的には NPO の組成、イベントの企画・立案・実施等の主体となる人材を育成し、地域の活性化や社会課題の解決へとつなげていきたいと考えています。

具体的な拠点の場所や運用方法の詳細は、今後、若者会議実行委員会によるワークショップや専門家のアドバイスを得ながら検討し、継続的に拠点が運営される仕組みを見出していきたいと考えています。また、拠点の整備に係る必要の調達は、これも専門家のアドバイスを得ながら検討し、実行委員会がクラウドファンディングにより実施することを想定しています。

以上のことから、平成 30 年度は、多摩市若者会議の継続実施と、若者のまちづくり拠点の整備、実現を目指して参りますので、引き続きのサポートをよろしくお願いいたします。



資料

1. 「第4回＜最終回＞多摩市若者会議プレゼン資料」

- (1) 多摩市の公園を再生し、まちの魅力にしよう！…………… 16
- (2) パルテノン多摩&多摩中央公園の活用…………… 21
- (3) パルテノン多摩&サンリオキャラクターの活用…………… 31
- (4) 未知 Cafe と学園企業都市～若者団体で多摩市を盛り上げよう～ …… 36

2. 多摩市若者会議における意見のまとめ

- (1) 第1回多摩市若者会議（6月16日（金）開催）における意見のまとめ…………… 42
- (2) 第2回多摩市若者会議（8月4日（金）開催）における意見のまとめ…………… 42
- (3) 第3回コアメンバー会議（8月5日（土）開催）における意見のまとめ…………… 43
- (4) 第3回多摩市若者会議（9月15日（金）開催）における発表内容…………… 44
- (5) 第4回多摩市若者会議（11月17日（金）開催）における意見のまとめ…………… 48

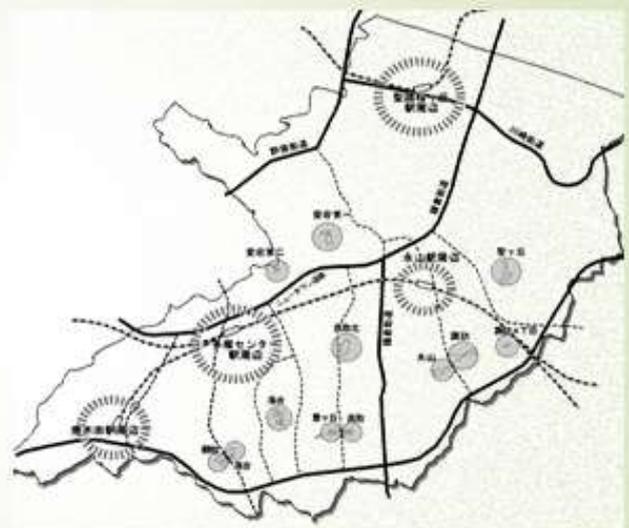
多摩市の公園を再生し、 街の魅力にしよう！

翁、高橋、小川（千）、五十嵐

1. 多摩市のおもな概要

- 多摩市の位置：東京都の西南部 面積 21.08km²
- （その内の2.01km²が公園になる）
- 多摩市の人口：148,815人（平成29年10月1日）
- 多摩市の世帯数：71,081世帯

多摩市役所サイトから



ねらい

- 多摩市内にある公園を使って魅力発信をしていきたいこと。
- 若者に多摩市の魅力を感じてもらい将来、永住をしてもらう。
- 新たな、多摩市の魅力を発見をする。

2. フィールドワークから見た 公園の現状分析

- ・公園内や付近は思った以上に街灯が少ないため、夜間になると危険な場所になる。
- ・魅力的な公園や施設はあるが、若者がインスタグラムなどのSNSにアップしたくなるようなスポットにはなっていないもしくは、整備されていない。
- ・多くの公園では年配の方々が整備をしている。
- ・静かで心地いい空間ではあるが、どこか寂しさが感じられた。

3. 多摩市の公園の問題点



解決案提示

4. 解決案の概要

1. 広い公園内で、一角を整備し、一年を通してビアガーデンまたは、BBQの場所を提供する。
2. 公園内でフリーマーケットや多摩市の特産品を販売するイベントなどを定期的に開催する
3. 公園のベンチや植木をキャラクター仕様にして、公園のなかに隠れているキャラクターを探せるようにデザインをする。また、簡易な筋トレの遊具を開設をする。
4. 多摩市のPRCMを街灯テレビや電車内の広告テレビに放映をする。
5. 市内各所をキティちゃんストーリーで繋げてインスタグラムのスポットにする。もしくは、若者がインスタグラムを上げたくくなるようなスポットを増やし、スポットを巡りをするように仕向けることで、おのずと市内設備を利用してもらえるように仕組みを作る。そして、多摩市自体の魅力を体験してもらう。

5. まとめ

- 多摩市に若者を呼び込むために、イベントやInstagramのスポットをSNSやTVCMを通して、PR動画を配信する。
- 公園に活気づけるためにも、フリーマーケットや多摩市の特産品販売するなどして多摩市の魅力アピールをする。
- 多摩市を活性化するためにサンリオやラスカルなどのキャラクターとのコラボをする。
- 公園をより安全にするために、整備の普及が必要になる。

6 来年度に向けて

公園を利用したフリーマーケットやBBQなどの定期型のイベントを開催。

サンリオといったキャラクターとコラボしたイベントを開催し、SNSを利用し魅力発信をする。

多摩市のPRCMを作成し、全国に放映をする

パルテノン多摩と多摩中央公園の活用

発表者：村上、加藤、金子、若林、白須

2017年11月17日

目次

1. 背景
2. パルテノン多摩×○○
3. 多摩中央公園×○○
4. まとめ

1. 背景

企画に至る多摩市の背景

- ◆ 「若い世代の転出における人口減少」を課題として認識
 - ・大学入学時期の転入が多い一方で、就職・結婚時期である、30歳前後(特に28～37歳)の転出が多い。
 - ・近年、人口は横ばいで推移しているものの、若い世代の人口減少が進んでいる。人口構造の重心が高齢者層に移ることにより、人口バランスが悪化している。

<多摩市の転入・転出の状況>



<2015年と2005年の人口比較>

	2005年	2015年
総人口	145,877人	146,631人 (+754人)
若者人口 (20～39歳)	46,728人	34,131人 (-12,131人)
若者人口割合 (20～39歳)	32.0%	23.3% (-8.7%11)

出典：国勢調査

若者会議を通して見えてきた多摩市と 企画の方向性

◆ フィールドワークを通して見えてきた「多摩市」

若い世代・子育て世代にとっての住環境の良さ

歩車分離の安心安全な街並み、公園、公共施設、レジャー、商業の充実

◆ 企画の方向性

若い世代・子育て世代の定着と呼び込み・定住促進を目指す

多摩市内：コミュニティの結びつきを高める

⇒多摩市への定着率向上に繋げる

多摩市外：子育て世代・若い世代の定住化に向けたきっかけ作り

⇒多摩市への流入、定住促進に繋げる

多摩市のシンボル

◆ パルテノン多摩(パ尔多摩)



文化の拠点

◆ 多摩中央公園



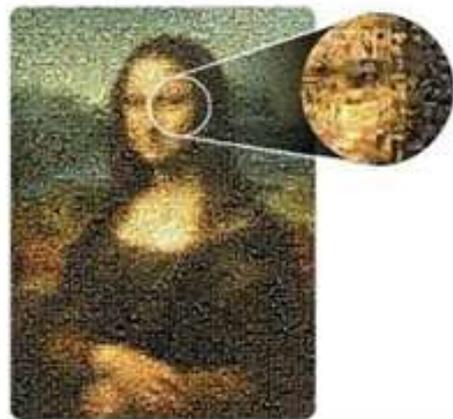
人々の交流の場

→多摩市のシンボルを活用し、
文化と内外の交流に焦点を当てたイベントを企画

2. パルテノン多摩 × ○○

パルテノン多摩 × ART

- ◆パル多摩の大階段を使用した、
参加型ギャザリングアートイベント



パルテノン多摩 × ART

- ◆パル多摩の大階段を使用した、
参加型ギャザリングアートイベント



パルテノン多摩 × ART

- ◆パル多摩の大階段を使用した、
参加型ギャザリングアートイベント
 - サンリオ、ベネッセ、ジブリとコラボレーションした
キャラクタースタンプラリーの実施
 - SNSを活用し、多摩市の知名度向上
 - 内外で2000人規模の集客を目標
 - 子育て世代、若者世代の呼び込みと多摩市民の交流

3. 多摩中央公園 × ○○

多摩中央公園 × ○○

「多摩中央公園 × ○○」で多様に変化する場として活用

WORK

ENJOY

MEET

①多摩中央公園 × WORK

～自然の中で働く、コワーキングイベント～



⇨自然の中で働くという新たなワークスタイルを提案

⇨多摩市で働くということのきっかけ作り

②多摩中央公園 × ENJOY

～芝生スロープが客席、野外映画祭～



⇨多摩市民の娯楽の機会創出

⇨多摩市外の方の来街機会の創出

②多摩中央公園 × ENJOY

～芝生スロープが客席、野外映画祭～

➤TAMA CINEMA FORUMとのコラボレーション



③多摩中央公園 × MEET

～アウトドアで出会う、婚活イベント～



⇨若い世代の多摩市での出会いの機会をすることで多摩市での定住化に繋げていく

4. まとめ

まとめ

多摩市内:コミュニティの結びつきを高める

⇒多摩市への定着率向上に繋げる

具体策:①パルテノン多摩でのギャザリングアート

②多摩中央公園での野外映画祭

多摩市外:子育て世代・若い世代の定住化に向けたきっかけ作り

⇒多摩市への流入、定住促進に繋げる

具体策:①パルテノン多摩でのギャザリングアート

②多摩中央公園での野外ワーク、映画祭、婚活イベント

パルテノン多摩と多摩中央公園を有効活用し、
多摩市をもっと、
住みたくなる街、住み続けたい街に！



パルテノン多摩 & サンリオ キャラクターの活用案

井上、権平、石原、相田

わたし達のねらい

- 多摩市の知名度を上げ、より多くの方々に足を運んでもらう
→ 駅周辺にはパルテノン多摩やサンリオピューロランドをはじめ、カフェやレストラン等さまざまなスポットがあり、これらの利用者を増やしていきたい
- サンリオキャラクターを積極的にアピールし、注目度を上げる
→ 京王電鉄と同様に小田急電鉄もサンリオ企業と連携することで、サンリオ事業の活性化につなげたい

方針

- ①小田急電鉄とサンリオ企業の連携を実現させる
(京王電鉄だけだと寂しい感じがするから)

- ②パルテノン多摩を舞台としたイベント企画を実施していく

提案1 小田急電鉄とコラボレート

- 京王電鉄と同様に駅構内、券売機、自動改札機、駅名看板をサンリオキャラクターで装飾する

- エイプリルフールなどのイベント時に駅名を“キティ駅”にするなど
ネーミングライツを活用してみる

- サンリオキャラクターが描かれたラッピング電車を年に1回
もしくは月に1回運行する

提案2 ホームページ・ユーティライゼーション

- 京王電鉄・小田急電鉄のホームページにそれぞれ「沿線お出かけ情報」と「沿線ガイド」のコーナーがあり、そこに多摩市の情報を発信するためのスペースを確保したい
- Twitter・Facebook・Instagramに加え、駅構内にあるカタログやパンフレットからも多摩市の情報を発信していきたい



提案3 サンリオロード

- 多摩センター駅からサンリオピューロランドまでの道を可愛く装飾したい
→キャラクター入りの案内板はすでに存在するが、もっと目立たせる必要がある。案内板に加え、サンリオキャラクターのオブジェも設置してみる
- 一般の方々が描いてくれたサンリオキャラクターのイラストを路面にプリントしてみたい
→サンリオキャラクターに興味を持ってもらうためのキッカケづくり



提案4 パルテノン多摩



- 5階と4階 地中海料理&カフェ「トレーノ・ノッテ」
→期間限定のコラボイベントを実施し、限定メニューを出したい
※あえてクリスマスやハロウィンなどのイベント時期と日程をずらす
- パルテノン多摩の各階でスタンプラリーを開催したい
→参加者には多摩市の風景とサンリオキャラクターを合わせたポストカードをプレゼントする

提案5 パルテノン多摩(施設)

- 2階 特別展示室(市民ギャラリー)
→多摩の風景写真や風景画を定期的に展示し、多摩の魅力をアピールしていく
- 4階 キッズファクトリー
→サンリオキャラクターに会えるイベントやサンリオスイーツを作って食べられる体験教室的なものを実施する

提案6 パルテノン多摩(大階段)

- 大階段を上りきったら、多摩センターを背景にサンリオキャラクターと写真撮影ができるスポットをつくる
- 夜をメインに「キャラクターショー」や「ライトアップショー」を実施する



まとめ

- ①京王電鉄・小田急電鉄との連携を通じた
ホームページ掲載やSNSによる情報発信に力を入れていく
- ②サンリオキャラクターを活用した新たな取り組みに挑み、
“ハローキティに会える街”をさらに活気づけていく
- ③様々なイベントを通してパルテノン多摩の活性化を目指し、
より多くの方々が訪れたい場所にしていく

未知Cafeと学園企業都市

～若者団体で多摩市を盛り上げよう～

小川（真）、中嶋、西原、
前川、矢野

目次

- 若者会議で出た意見・多摩市の背景
- 目指すゴール
- 提言
- なぜ多摩市に若者団体？未知Cafeとは何か？
- 若者団体の活動の具体例
- まとめ

若者会議の中で出た意見

フィールドワークで街を歩いてみて

- 治安がよく**住みやすい**地域だと改めて感じた
- 一方で**賑やかさ**や**活気**が**足りない**のでは？

そこで

若者が使いやすいユニークな**カフェ**や**たまり場**、
団らん出来るような場所があったらいいな



多摩市の背景・課題

- 多摩市内には多くの**大学**が立地し地域で活動している

ex)多摩大学・大妻女子大学・恵泉女学園大学…etc

- また、多くの**企業**本社・東京本部が立地している

ex)京王電鉄・サンリオ・ベネッセ…etc **KEIO**

課題

豊富な地域資源が存在するにも関わらず、
多摩市内の**大学**と**企業**は
有機的な連携が出来ていないのでは？

目指すゴール

目指すもの

- 史上最も**活力**にあふれる多摩市の実現

- 少子高齢化の解消、活発な企業・起業活動の舞台

- 高水準の教育環境の整備、最先端技術を生かしたまちづくり

私たちに出来ること

- 市の支援を受けた**若者団体**が**社会課題に挑戦**

- 年度ごとにテーマを設定し、

- 課題解決のために声を上げて活動していく

- 活動の中で企業やNPO等との協力を想定

私たちの提言

若者の集まる「**場**」作り

- そもそも**若者団体**とは？

- 多摩市のために何かしてみたいという若者が集まる学生団体をイメージ

- 市が活動しやすいような支援策を行っていく

- **未知Cafe**を活動の拠点とする

- 団体の活動をよりカジュアルに知ってもらう場

- 多摩市を元気にしたいと思っている人たちの集いの場

- 活動員と市民が直に触れ合い交流する場

なぜ多摩市に若者団体？

●大学生の求めているもの

- 大学の中だけでは出来ない（就活で言えるような）経験
- 友達を作りたい
- イベント運営や広報活動をしてみたい

●多摩市の両面性

様々な企業が立地し、関わっていくことが出来そう！



地方創生・コミュニティ活性化のようなプロジェクトが
（アクセス的な面で）気軽に出来るのでは？

未知Cafeとは何か？

若者会議の中で出てきたオリジナルフレーズ
この先に続いていく「道」と
新しいものに出会える「未知」をかけている

- 常設で運営していく事は目的にしない
- プロジェクトベースでの会議に使用
- 思いついた時にパツと集まれるような団体の居場所として想定



若者団体の活動（例その1）

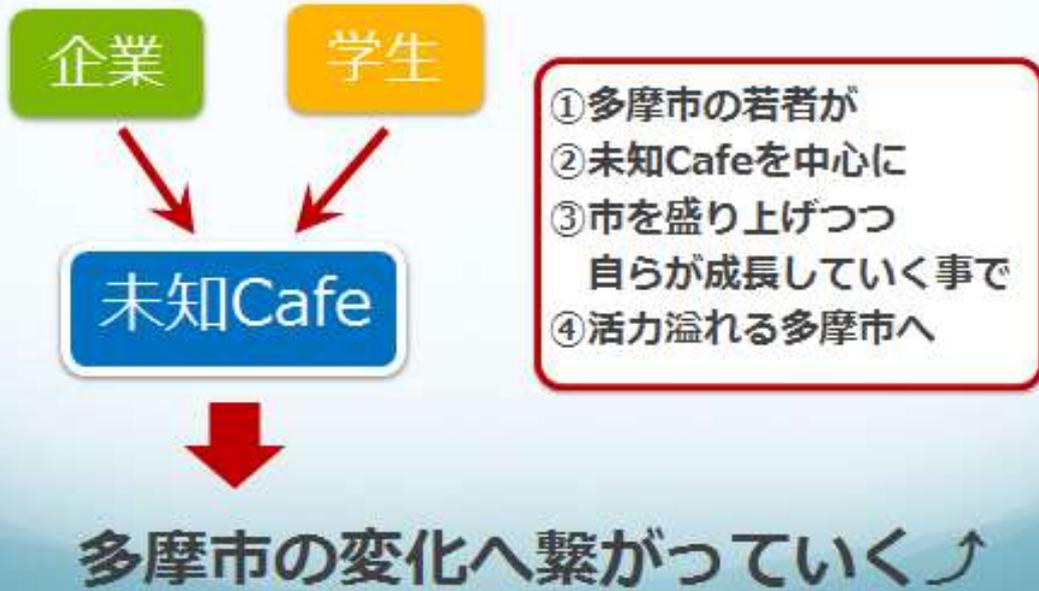
- **企業の商品開発・PR等に若者団体が関わる**
 - サンリオと協力して
新しいキャラクターを作ってみよう！
 - 若者が新商品を実際に使って、SNSで発信してみる
- **多摩市でのイベントの開催・参加**
 - ブログやSNSを利用して
市公認での広報活動がしてみたい！

若者団体の活動（例その2）

- **就職に活かせるような活動**
 - 選考とは関係なく企業の人々の生の声を聞ける機会
 - 中小企業がリクルートの場として利用する
 - 団体の活動として会社訪問を行う
- **若者団体が事業を立ち上げてみる**
 - 多摩市内での活動を通して、課題解決能力や
広報活動等のスキルを育てていく



まとめ



1. 多摩市若者会議における意見のまとめ

(1) 第1回多摩市若者会議 (6月16日(金) 18時~20時30分@パルテノン多摩 第一会議室)



(2) 第2回多摩市若者会議 (8月4日(金) 19時~21時@パルテノン多摩 第一会議室)

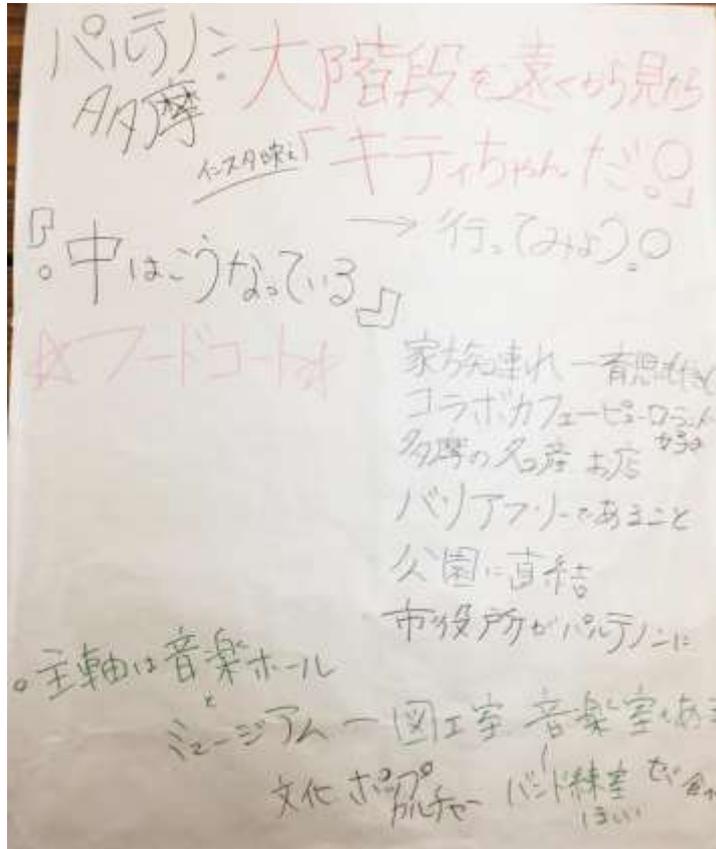


(3) 第3回コアメンバー会議 (8月5日(土) 18時30分~20時30分@関戸公民館 第三学習室)

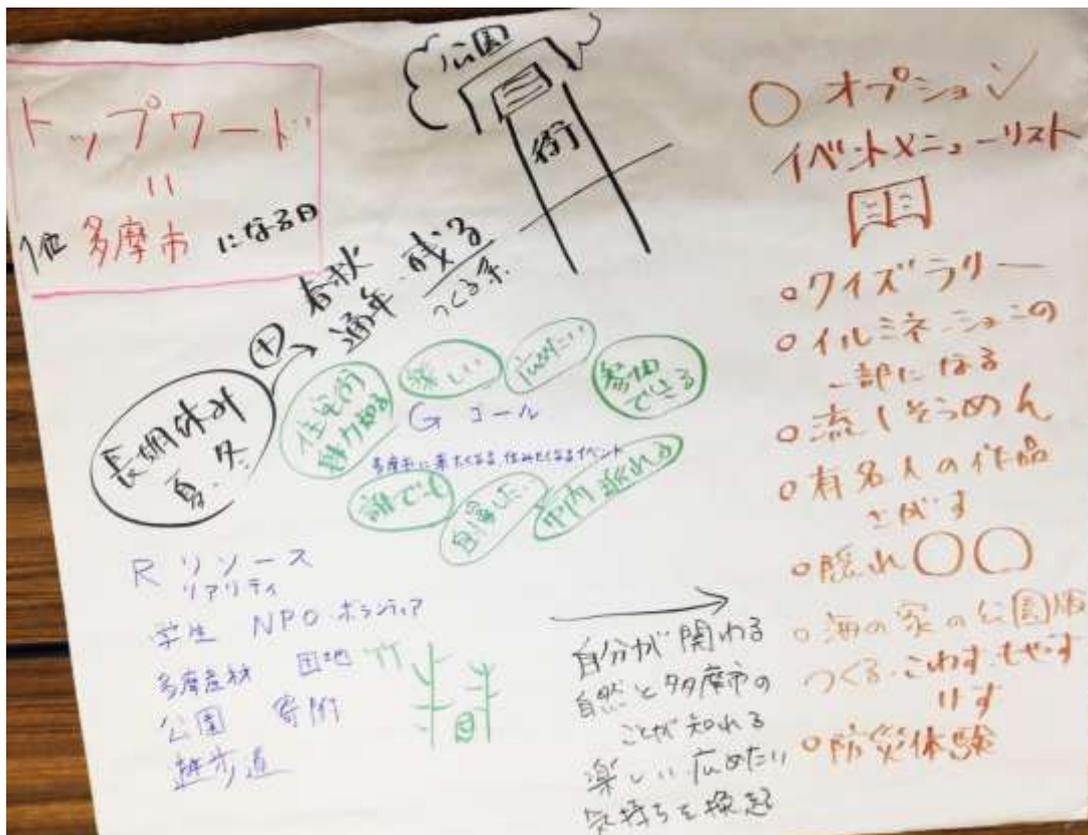


(4) 第3回多摩市若者会議 (9月15日(金) 19時~21時@多摩市立関戸公民館 大会議室)

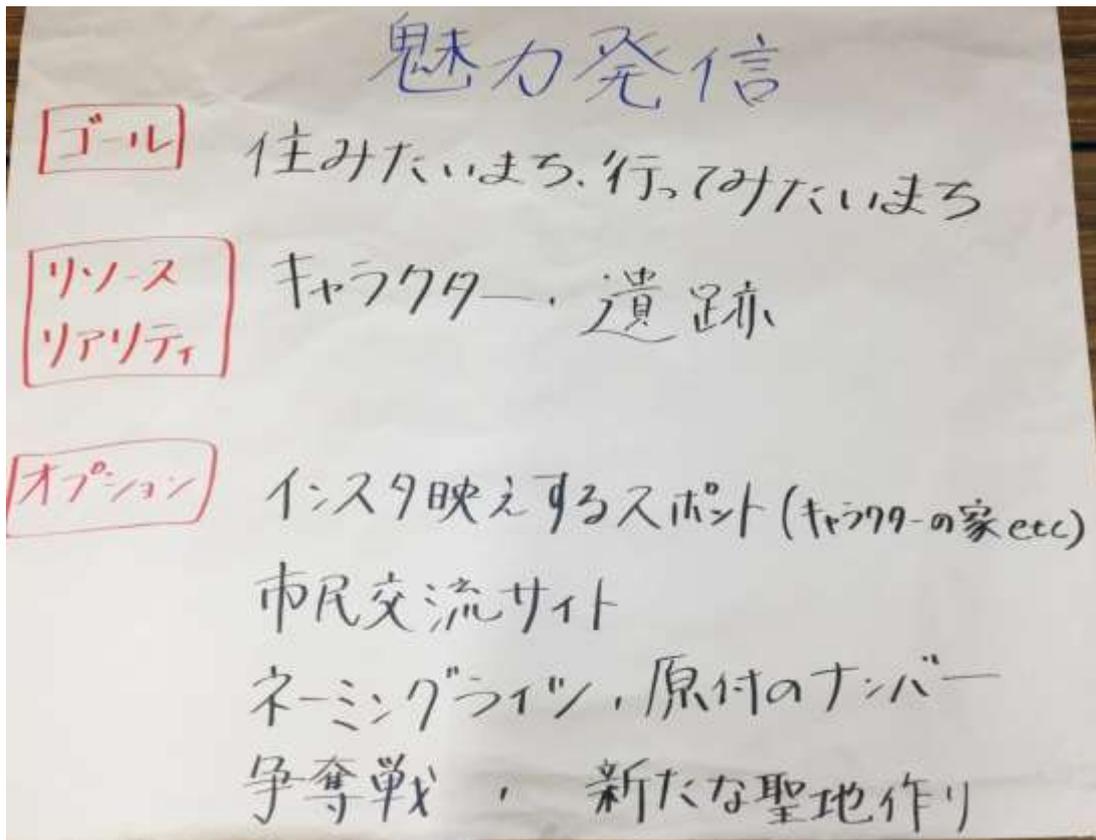
発表① パルテノン多摩の活用 (大階段・建物内)



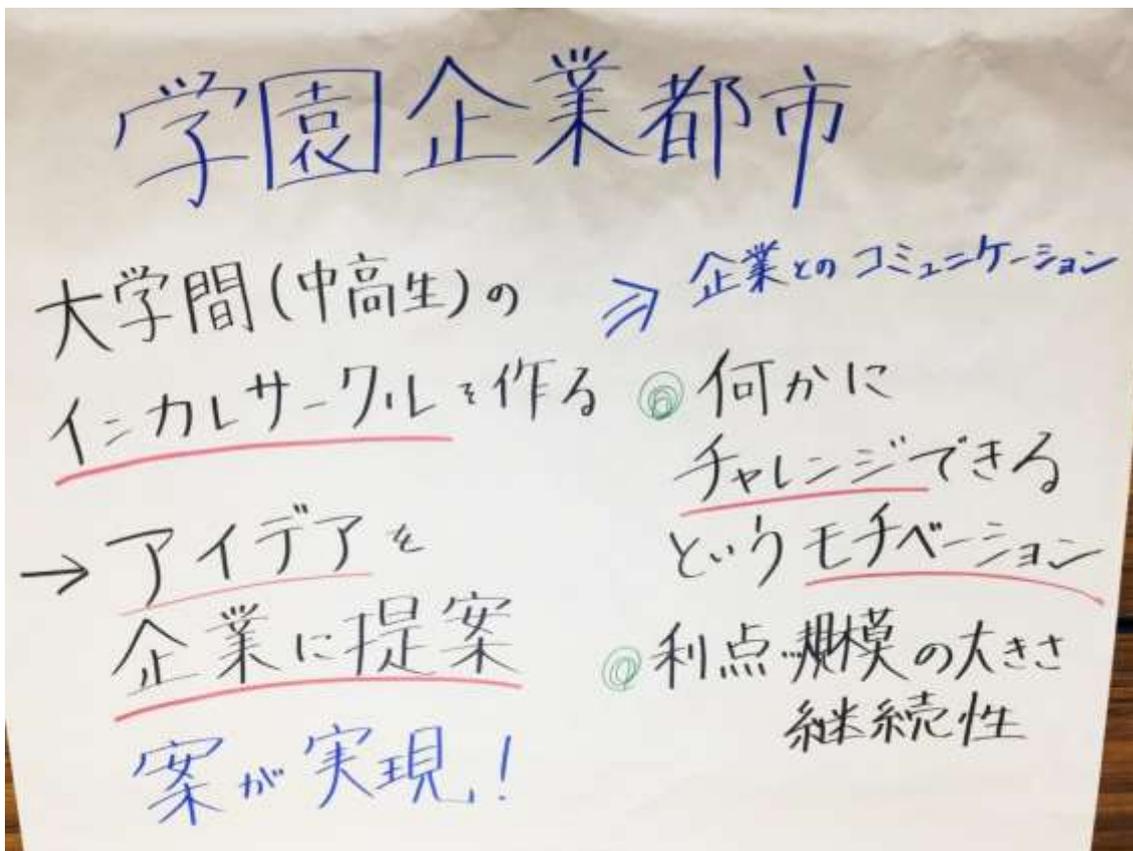
発表② ネット上で話題になるイベントの開催



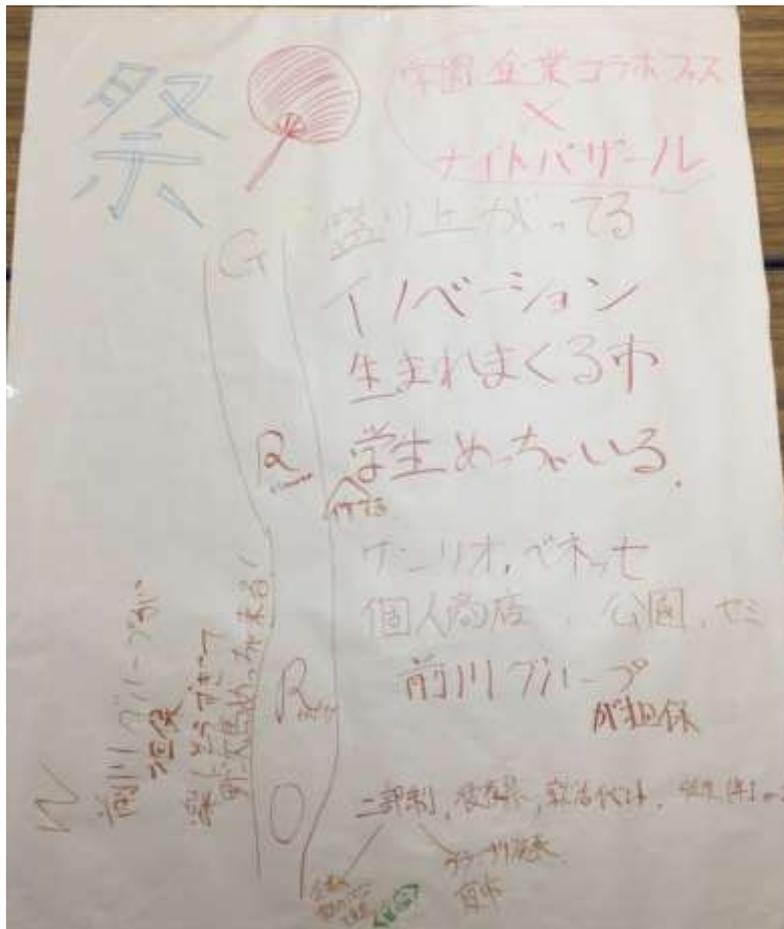
発表③ 魅力発進～「キャラクター」や「遺跡」の活用



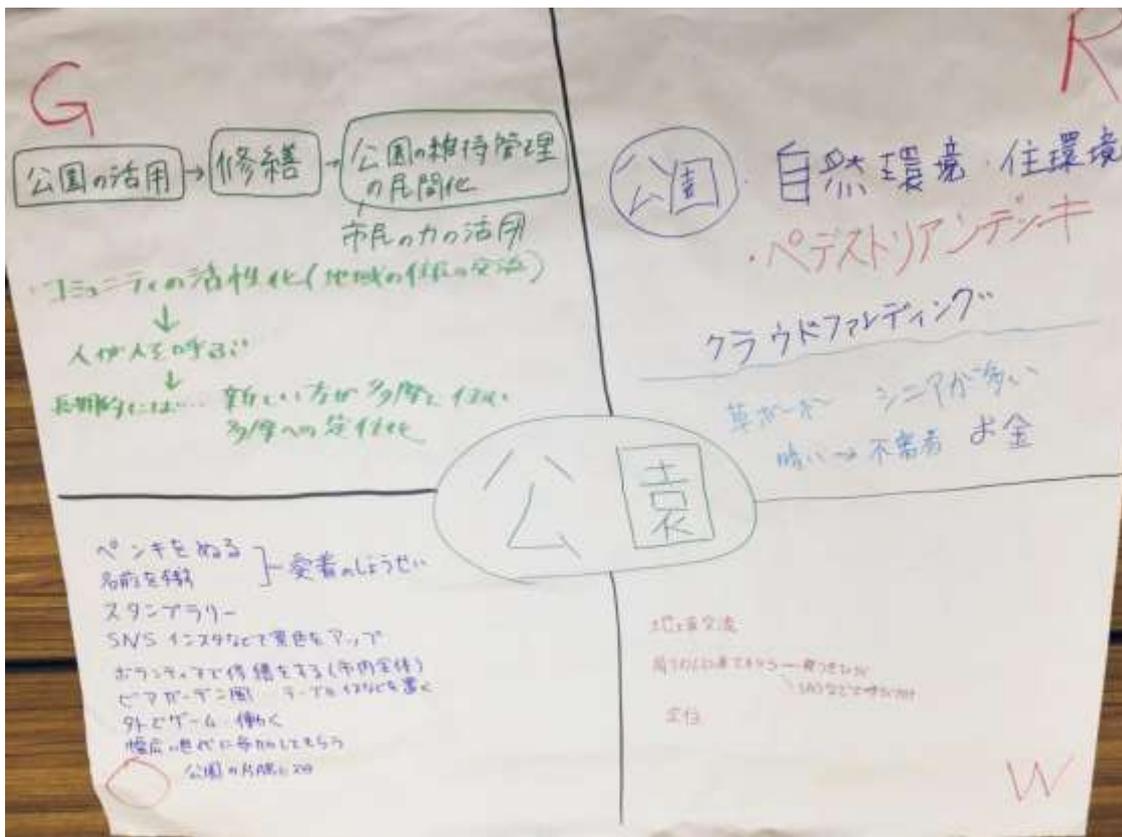
発表④ 「学園企業都市」～インカレサークルの設立～



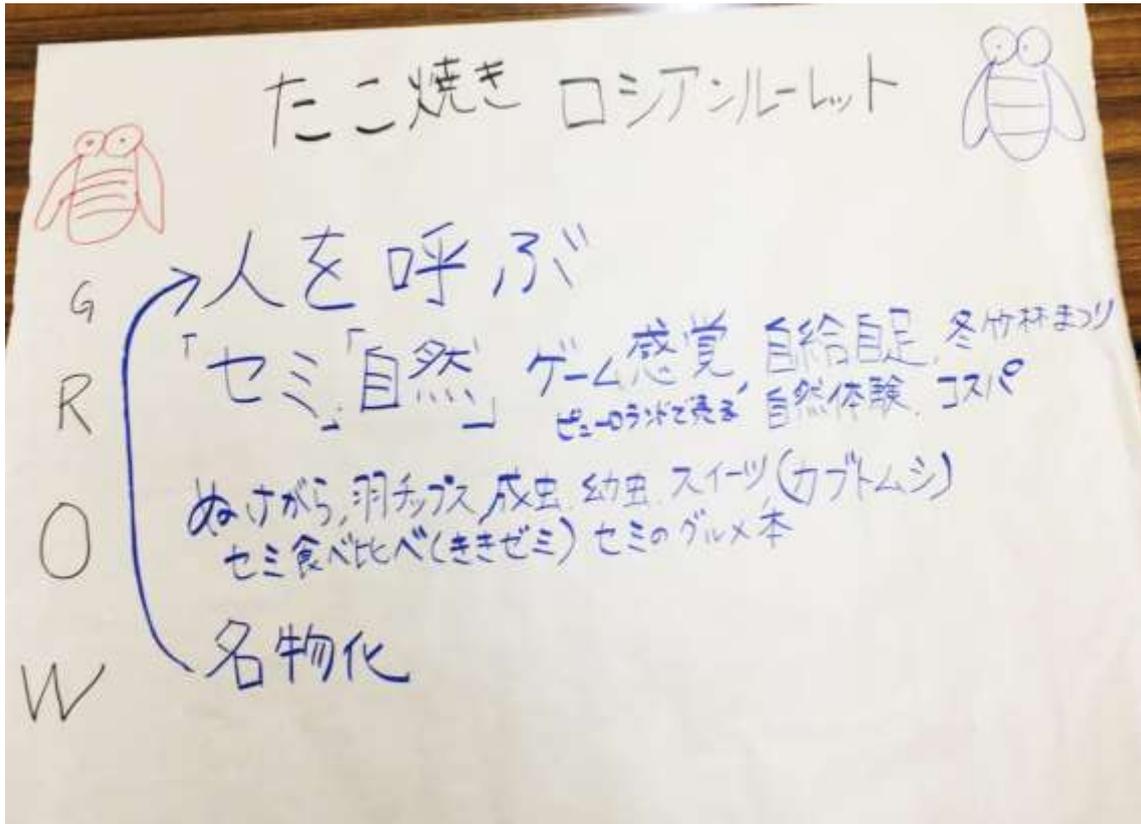
発表⑤ 「祭り」～企業と学生のコラボレーションイベント



発表⑥ 公園の活用～市民の力を活かす～



発表⑦ 地域資源（昆虫等）の活用～セミを食べる?! たこ焼きロシアシール～



発表⑧ 色々な人が集まれるカフェを作る～Everyday find new thing 未知カフェ～



平成 29 年度 多摩市若者会議実施報告書

平成 29 年 12 月発行

発行 多摩市企画政策部企画課

〒206-8666

東京都多摩市関戸 6 丁目 1 2 番地 1

電話 042-375-8111 (代表)